

減災対策推進に際しての課題

平成21年9月15日

第7回武庫川流域減災対策検討会

1 県防災部局、流域市との意見交換により明らかになった課題等

住民に対する水害リスクの啓発方法について

- ・水害リスク認識の低い地区や住民に対する住民参画等へのアプローチ方法
- ・水害リスク認識の高いモデル地区の取組を広域的に展開する方法
- ・ハザードマップの想定被害は、複数の破堤箇所を重ね合わせた最大量である等から実被害とは異なり、現実感に乏しいリスクであると認識されがちである

避難について

- ・避難勧告等の避難情報に対する理解不足から、避難してもらえない
- ・地区ごとの避難経路の設定
- ・避難行動は個人、個人の判断が重要となる（垂直避難等効果的な避難方法の徹底）
- ・災害時要援護者を地域で支える仕組みの構築

住民参画の進め方について

- ・地区のリーダーをいかに探すか
- ・地区の中にいる防災リーダーの減災対策の取組への参画
- ・ワークショップ運営時の行政の関わり方（行政が前面に立てばハード整備に対する陳情の声）
- ・防災専門家との連携方法

2 その他 想定される課題

- ・行政から住民への水害リスク情報提供方法の転換（インフォメーション型からコミュニケーション型へ）
- ・各地区の取組内容をマスメディアの活用により効果的に発信し、他の地区へ啓発
- ・県市の部局間においても、各地区の取組内容の情報を共有

ここでは、防災リーダー：地区の人 防災専門家：学識者 としています。